

## 脱穀に挑戦！ 昔の道具を使って

10月30日（火）、中山みどりの森保育園の年長児が「せんばこき」「足踏み式脱穀機」といった昔ながらの道具を使って脱穀作業を体験しました。

子どもたちは、見たことのない道具に興味深々。さっそく使い方を教えてもらい、順番に脱穀に挑戦しました。

せんばこきは、櫛状の歯の部分に稲を差込んで、ひっぱります。「すごい！とれた」「おもしろい」と子どもたちは大喜び。道具にも少しずつ慣れてきて、足踏み式脱穀機のペ



▲足踏み式脱穀機にも挑戦

ダルもタイミングよく上手に踏めるようになりました。

脱穀したのはもち米です。

地域の方の協力により田植え、稲刈りとずっと米作りを体験してきただけに、子どもたちの収穫の喜びはひとしおだったと思います。

次回は、もちつきとしめ縄作りを予定しているそうです。



▶よいしょ！力があるね

## IJUカフェで仲間づくりを

10月20日（土）、平澤牧場（陣構）を会場に「第一回IJU（移住）カフェ米子」が開かれました。

IJUカフェは、鳥取県に移住してきた人が「JU」のように気軽に話せてつながれる場所」をコンセプトにしたコミュニティシヨンプロジェクト。主催したのは移住者ネットワーク「まる」代表の吉澤晴美さん（米子市）です。



▲初対面でも、すぐに打ち解け会話がはずみました

今回はおよそ40人が参加しました。参加者は、羊肉のバーベキューを食べながら、自己紹介をしたり、夢を語ったり

とろいろな話題で盛り上がっていました。特にテーマを決めての話し合いではありませんでしたが、鳥取県に移住して良かったことや移住後の問題点、また今後の展望など、互いに意見交換することのできて充実した会になったようです。

平澤牧場から見る大山町の風景に感動して宿泊する人も多かったようで、参加者に大山町の魅力を知ってもらったきっかけにもなりました。

## 同期生の「絆の力」

### 大山小で草刈り作業

10月24日（水）、さわやかな秋晴れの中で、大山第一中学校第16期同期生の皆さんが、大山小学校のグラウンドの草刈り作業を行いました。

かつて大山町立大山第一中学校は佐摩地区にあり、卒業後50年の記念事業の一環として小原敏夫さんの声掛けで、同期生21人が集まり実施されました。

各自持参の草刈り機で、大山小のグラウンドの斜面があつという間にきれいになり、刈られた草が山と積まれました。

第16期同期生の絆の力を結集しての草刈り作業でした。次は、記念旅行を企画しているということなのです。



▶楽しく作業ができました